

3.6 林業機械の性能（小型可搬式機械）

1. 試験担当者

本場機械化部機械科長 山脇 三平 ほか

2. 試験目的

小形可搬機械、すなわちチエーンソー、刈払機、植穴掘機等の動力性能について計測分析をおこない、これらの基礎データにもとづいて改善、開発のための指針を取得し、実際に実行することがこの研究の目的である。

3. 昭和44年度の経過とえられた結果

前年度においては、チエンソーに装備しているソーチエーンは日に数回目立をしながら伐倒および切锯断しているが、目立のたびにソーチエーンの切刃の長さは、わずかづつ短かくなり、新品のときの切刃の長さを $5/5 = 1$ とした場合、 $4/5, 3/5, 2/5, 1/5$ とへつた場合の切削性能に与える影響について、チッパー形ソーチエーンについては、先年度その結果を報告したとおりであるが、自動研磨のできるパワー、シャープナ形ソーチエーンについてその計測・分析をおこない検討をくわえた。

すなわち、チッパー形ソーチエーンの傾向と同様、パワーシャープナ形ソーチエーンについても、切刃の長さが新品のときから、だんだん短かくなると、その切削性能は漸次、低下することを確認することができる。

4. 昭和45年度の試験計画

本年度はとくにソーチエンの切削性能と、超小形チエンソーの鋸断性能については超小形チエンソーの鋸断中の動力性能の測定を行なう。